開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	選択
担当教員			
金 弘錫			
C (商学部)	S (専門科目)	L0 (流通)	202 (中級科目)

授業のねらい (概要)	<p>流通政策は、生産から消費に至る流通の機能や活動を対象に実施される公共政策であり、その目的は、流通の望ましい状態を達成するところにある。ところが、現状の流通システムは市場機能が十分に機能しない場合が少なくない。最適な資源配分や社会全体の効率性を達成していくためには、長期的な視点での流通政策の展開が大切である。そこで本授業では、流通政策に関する基礎概念及び事例を詳細に考察し商学の各分野に関する基礎知識の修得と課題について考えるの能力を身に付けることを目的とする。</p>
授業計画	<p>第1回 【遠隔】 授業の概要、講義の進め方、評価方法、注意事項など 予習 (時間) : 流通と流通の機能、流通政策とは何かを調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 流通の概念と流通の社会的役割、流通政策について考察する (120分)。</p> <p>第2回 【遠隔】 流通に関する基礎概念 (I) / 流通と物流とは何か、流通の社会的な役割、流通の機能、生産者のマーケティング活動 予習 (時間) : 流通の機能と役割、また生産者の流通段階への介入について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 流通と物流の概念、流通の社会的役割、生産者のマーケティング活動について考察する (120分)。</p> <p>第3回 【遠隔】 流通に関する基礎概念 (II) / 流通の評価基準、流通業を取り巻く環境変化、小売業と卸売業の定義、役割 予習 (時間) : 流通の効率性と有効性、流通業を取り巻く環境変化、小売業と卸売業の役割について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 流通の評価基準、流通業を取り巻く環境変化、小売業・卸売業の役割について詳細な考察を行う (120分)。</p> <p>第4回 【遠隔】 流通に関する基礎概念 (III) / 流通チャネルの組織化、市場取引と組織取引 予習 (時間) : 流通チャネルの類型、垂直的流通システム、加工食品業界の特約店制度について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 垂直的流通システム、市場取引と組織取引を考察し、流通システムの編成の在り方を明らかにする (120分)。</p> <p>第5回 流通政策の目的と体系/流通政策の根拠、目的、流通政策の体系 予習 (時間) : 流通政策の目的と体系について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 流通政策の目的と体系に詳細な考察を行い、政策転換の方向性を明確にする (120分)。</p> <p>第6回 【課題 I】 競争秩序の維持に関する政策 (I) / 独占禁止法の基本的枠組み、独占禁止法の運用 予習 (時間) : 独占禁止法の目的と運用について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 独占禁止法の基本的枠組みを確認したうえで、流通分野における法運営について把握してみる (120分)。</p> <p>第7回 競争秩序の維持に関する政策 (II) / 再販制度に関する独占禁止法の運用、小売業による優越的地位の濫用に対する規制 予習 (時間) : 再販売価格維持行為と再販制度、再販制度の全面見直し、小売業による優越的地位の濫用について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 再販制度の全面見直し、また小売業による優越的地位の濫用について詳細な考察を試みる (120分)。</p> <p>第8回 競争秩序の維持に関する政策 (III) / 景品表示法、不正競争防止法、訪問販売法 予習 (時間) : 景品表示法、不正競争防止法、訪問販売法について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 景品類に関する規制、表示に関する規制、訪問販売法について詳細な考察を行う (120分)。</p> <p>第9回 【課題 II】 流通活動の振興に関する政策 (I) / 振興政策の形成と展開、振興政策の体系化と限界 予習 (時間) : 流通近代化政策、立地適正化政策、流通システム化政策、中小小売商業振興法について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 振興政策の基本的視点、流通近代化政策、立地適正化政策、流通システム化政策の概念を理解する (120分)。</p> <p>第10回 流通活動の振興に関する政策 (II) / 振興政策の拡充と強化、中心市街地活性化政策 予習 (時間) : 中小小売商業振興法の改正、特定商業集積の整備の促進に関する特別措置法、中小企業流通業務効率化促進法、中心市街地活性化政策について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 中小小売商業振興法の改正、特定商業集積の整備の促進に関する特別措置法、中小企業流通業務効率化促進法、中心市街地活性化政策について考察する (120分)。</p> <p>第11回 流通活動の調整に関する政策 (I) / 調整政策の形成、大規模小売店舗法 予習 (時間) : 大規模小売店舗法の基本的枠組み、大規模小売店舗法の運用強化について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : 調整政策としての大規模小売店舗法の基本的枠組みを体系的に理解する (120分)。</p> <p>第12回 【課題 III】 流通活動の調整に関する政策 (II) / 調整政策の転換、大規模小売店舗立地法と改正都市計画法 予習 (時間) : まちづくり3法について調べてみる (120分)。 復習 (時間) : まちづくり3法に対する詳細な考察を行い、流通活動の調整に関する政策の方向性を明確にする (120分)。</p> <p>第13回 物流政策 (I) / 物流政策の概念、運輸行政に見る初期の物流政策 予習 (時間) : 物流政策の概念、運輸行政に見る初期の物流政策について調べてみる (120分)。</p>

	<p>第14回 復習（時間）：物流政策の概念と運輸行政に見る初期の物流政策を考察する（120分）。 物流政策（Ⅱ）/通産行政における物流政策の始まり、総合物流施策大綱、新総合物流施策大綱</p> <p>予習（時間）：総合物流施策大綱、新総合物流施策大綱の概要を調べてみる（120分）。 復習（時間）：総合物流施策大綱、新総合物流施策大綱の概要を考察する（120分）。</p> <p>第15回 物流政策（Ⅲ）/物流政策の現状と課題</p> <p>予習（時間）：効率的な物流システム構築のための政策、物流インフラ強化策について調べてみる（120分）。復習（時間）：物流政策の課題を詳細に分析し、今後の物流政策の在り方を明らかにする（120分）。</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>本科目はDP（ディプロマポリシー）に掲げられている 「職業人的倫理観を持ち、組織で協力できる能力」 「情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢」 を身に付けることができる。</p> <p>【身に付くスキル】 職業倫理感・課題解決力</p>
到達目標	<p>①多面的な流通政策の目的や方法などを理解する。 ②流通政策の現状と課題を体系的に提案できることを目指す。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題については、修正点・注意点などを赤字で記入の上、返却する。
履修上の注意	黒板に要点を板書し、解説しながら講義を進めるので、毎回講義の内容を理解すると同時に講義内容を各自ノート作成すること。とりわけ、講義中私語による他の受講者に迷惑をかけるものは退室させることがある。特に、欠席（公欠含む）は5回で履修放棄とみなす。
成績評価の方法・基準	定期試験(60%)、レポート(30%)、学修意欲(10%)の割合で評価する。
教科書	新流通・マーケティング入門 ISBN番号：978-4-425-92561-2 著者名：金 弘錫・美藤信也・吉岡秀輝・田中敬幸 出版社：成山堂書店 発行年：2017年 価格：2800円
参考書・教材	
備考	<p>講義科目</p> <p>【課題Ⅰ】：流通政策の目的と体系 【課題Ⅱ】：独占禁止法及び下請法 【課題Ⅲ】：大規模小売店舗法及び大店立地法</p>
教員との連絡方法	Mellyまたはオフィスアワー